

Ⅱ章 駅・ラディアン周辺まちづくりビジョン

1 駅周辺地区のまちづくりコンセプト

1) 駅周辺地区の役割の整理

駅周辺地区の役割を、I章における地区の位置づけと、第5次二宮町総合計画・後期基本計画の重点的方針から、以下に整理しました。

役割① 吾妻山GATE

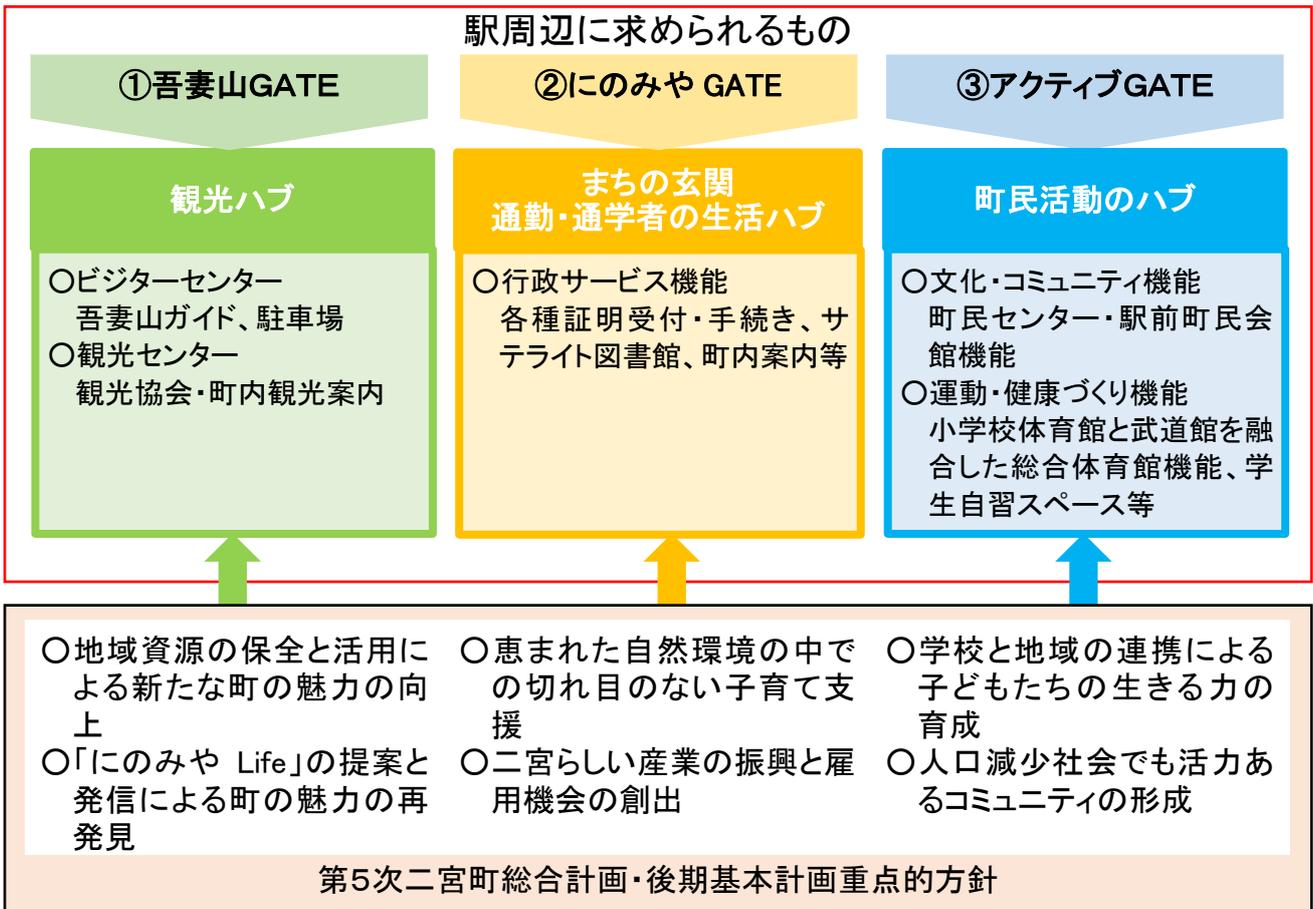
吾妻山を主体として二宮町を訪れる観光客へのサービス機能を担うとともに、二宮町の物産など情報発信機能を担っていきます。

役割② にのみやGATE

まちの玄関口として、通勤・通学者等を中心とする町民生活のハブとして、行政サービス機能とともに、北口通り商店街（はな通り）を含めて日常生活サービス機能を担っていきます。

役割③ アクティブGATE

町民センターを中心としてこの地区で展開されてきた町民活動の場を、引き続き担っていきます。



2) まちづくりの基本的方向性

前項で整理した地区の役割と、町民ワークショップでの議論を反映して、以下のようなまちづくりを進めます。

また、今後のまちづくりを進めるにあたって、ワークショップからの意見として、次に示す 3 つの視点が必要であるとの指摘を受けました。

- 駅を中心とした南北のまちづくりの方向性を整理する
- 駅付近に、町民や観光客等の来訪者が待ち合わせなど滞留できるスペースを確保する
- 北口通り商店街（はな通り）を含めた地域全体で町民の生活サービス機能を充実する

※この構想は（素案）であり、今後、議論を深めながら、その内容の具体化を図っていきます。

① 駅前複合施設

老朽化した二宮小体育館、町民センターや武道館の必要機能を確保した複合施設については、駅前立地を活かした以下の役割を担う施設のあり方を検討します。

- 町民も来訪者も憩える駅前交流空間の創出（吾妻山GATE）
- 生活が便利になるサービスの提供（にのみやGATE）
- 町民の様々な活動を支える機能の導入（アクティブGATE）

具体的には、以下の既存施設の必要機能と駅前地区の役割を担うサービスを提供する機能を整備します。

- ・二宮小体育館
- ・武道館
- ・町民センター
- ・観光協会（一部の出張所機能）

二宮小体育館は、耐震改修工事が実施されており一時的な修繕もなされていますが、老朽化が著しい状態です。一方で、災害時における駅周辺地域の広域避難所や、選挙時における開票所にもなっており、重要な役割を果たしています。

将来的に小中学校の統廃合が生じたとしても、避難所機能は必要と考えています。

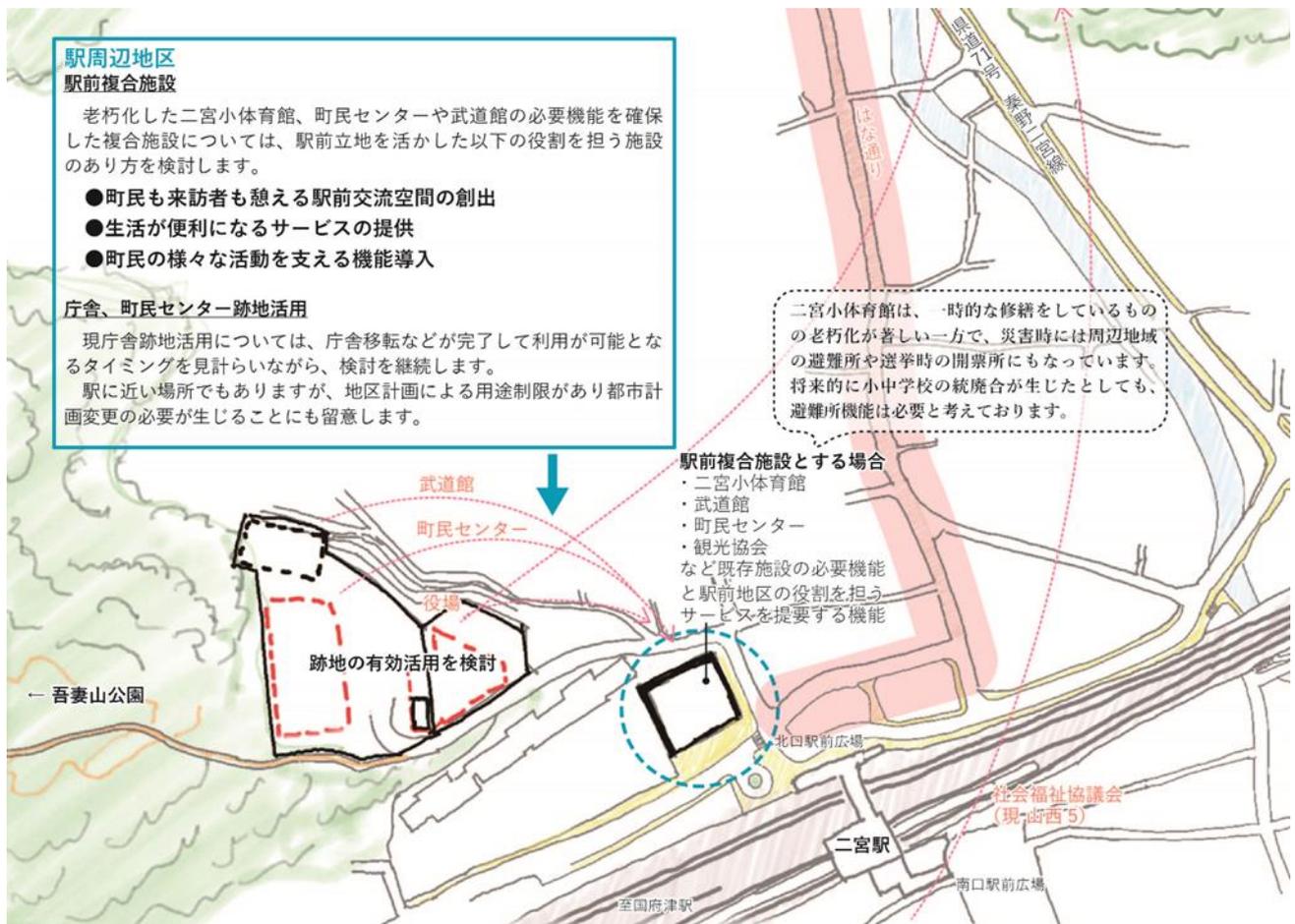
② 庁舎・町民センター跡地の活用

現庁舎跡地の活用については、庁舎移転などが完了して利用が可能となるタイミングを見計らいながら、検討を継続します。

駅に近い場所でもありますが「地区計画区域」として用途制限があり、都市計画変更の必要が生じることにも留意します。

③ 北口通り商店街（はな通り）

駅周辺地区とラディアン周辺地区を結ぶ「北口通り商店街（はな通り）」は商店街の活性化と歩きやすい歩行者優先の交通環境創出により、回遊性を高めていきます。



3) 駅前地区の整備イメージ

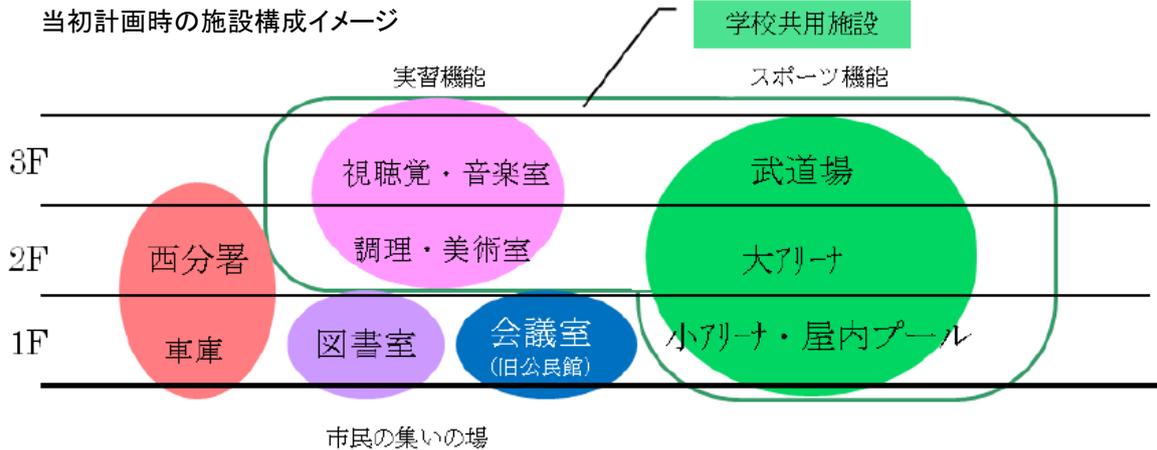
駅前地区における整備イメージを以下に整理します。

【学校体育館と公民館機能の合築の事例】

学校教育施設とコミュニティ・生涯学習施設の複合化により、類似機能の共用、利用時間の棲み分けなどにより、効率的な施設の整備と施設稼働率の向上を目指します。

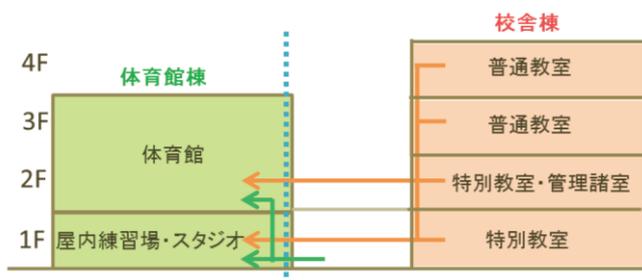
【事例①】 秦野市立西公民館・西中学校学校体育館 【秦野市】

将来的な小中学校の一体化を踏まえた学校体育館の建替えにあわせ、公民館の生涯学習機能や地域防災機能を備える多機能型体育館として整備しました。（写真：秦野市HPより）



【事例②】 かほく市宇ノ気体育館【かほく市】

中学校の体育館を社会体育施設として整備し、総合型地域スポーツクラブが指定管理者として管理運営。授業や部活動に総合型地域スポーツクラブが協力。（写真：グルコミHPより）



- 凡例
- 生徒 → 地域
 - 休日・時間外セキュリティライン
 - 中学校 □ 社会体育施設

(株)日総建 HP より

【駅前の交流・活動施設の事例】

駅前に町民活動の場(アクティブGATE)を整備するとともに、観光客への観光案内や物産販売、休憩施設(吾妻山GATE)を整備し、町民や学生、観光客などが交流、活動できる場を整備します。

【事例①】 駅前複合施設エンクロス【宮崎県】

市民や訪れた人が自由な時間を過ごすことができる場所として、待合スペース、カフェや書店、観光カウンター、キッズコーナーを整備。(写真：延岡市観光協会HPより)



【事例②】 日田駅待合室【大分県】

奥は駅を利用する学生の自習室としても利用されている図書コーナー。



【事例③】 由布院駅前由布市ツーリストインフォメーションセンター【大分県】

来訪者・観光客が気軽に立ち寄ることができる施設。



4) 今後のスケジュール

このコンセプトを基に、令和5年度中に基本構想をとりまとめ、令和9年度中の着工を目指します。

2 ラディアン周辺地区のまちづくりコンセプト

1) ラディアン周辺地区の役割の整理

ラディアン周辺地区の役割・期待される機能を、I章における地区の位置づけと町の後期基本計画の重点の方針から下表に整理しました。

第五次後期基本計画の重点の方針		ラディアン周辺地区に期待される機能
定住人口の確保 生活の質の向上と	○恵まれた自然環境の中での切れ目のない子育て支援	○気軽な健康づくり講習・子育て支援講習 ○大人も子どもとともにくつろげる居場所づくり ○気軽な学習・ラウンジスペース
	○学校と地域の連携による子どもたちの生きる力の育成	
	○住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けられる環境づくり	
	○人口減少社会でも活力あるコミュニティの形成	○地域活動の会合スペース ○地域イベント空間 ○気軽に立ち寄れるフリースペース（時間消費と交流機能）
	○「にのみや Life」の提案と発信による町の魅力の再発見	○在宅ワーク支援 ○多様な業種交流（多目的スペース）
環境と風景が息づくまちづくり	○二宮らしい産業の振興と雇用機会の創出	○創業支援（シェアオフィス/ショップ/コワーキングスペース）
	○自然を身近に感じられる環境にやさしいまちづくりの推進	○自然を身近に感じられる居場所づくり
	○地域資源の保全と活用による新たな町の魅力の向上	
交通環境と防災対策の向上	○都市基盤の強化と町民の交通環境の向上	○浸水時の避難場所の確保 ○災害時に多様な活用ができる広場
	○自然災害に対する防災・減災対策の充実	
	○新庁舎整備による安全・安心な町の拠点づくり	
戦略的行政運営	○効率的な行財政運営の推進	○保健センターを集約 ○ラディアンと連携 ○庁舎会議室の一般開放
	○町民とともにある自治体運営の推進と職員能力の向上	

2) まちづくりの基本的方向性

前項で整理した地区の役割と、町民ワークショップでの議論を反映して、以下のようなまちづくりを進めます。

① 二宮らしい居心地の良いエリア

ラディアン花の丘公園など豊かな自然環境や、ホール、図書館など文化的施設もあり、町民の日常的な居場所に相応しいエリアを目指します。

② 子どもや子育て世代、高齢者のためのサービス提供の充実

新庁舎建設を契機に、特に子どもや子育て、高齢者向けのサービスを提供できるエリアとするとともに、花の丘公園も含めた公共空間に二宮らしい居心地の良い憩いの場を創出していきます。

③ 地域全体の安全や安心の向上

周辺地域の一部は「洪水浸水想定区域」に含まれています。新庁舎は、災害への備えを充実し、一時的な避難機能の確保など、周辺にお住まいの方々の「安全」を高め、地域全体の安全や安心を向上させます。

④ 集約する機能

役場機能と一体となることで、利便性やサービス効率が向上する保健センターを集約します。窓口サービスの少ない機能については、集約した場合の効果と必要性を踏まえて継続検討とします。その際に、これらの機能を集約することで新庁舎の規模拡大につながらないことに留意します。

以上のことにより、ラディアン周辺地区は、人が集い、つながる、『まちの庭』となる空間となり、

「にのみや Life」を創造し

「まちの庭」として町民が気軽に集い

多様な活動により新しいものを生み出し

町民の SNS 等を通じて「にのみや Life」として発信されていく

そのような場となる、まちづくりを進めます。



3) ラディアン周辺地区の整備イメージ

ラディアン周辺地区における『まちの庭』としての空間の整備イメージを以下に整理します。

【外部空間とつながり、町民活動の場に活用できる庁舎】

ラディアン周辺地区が整備される新庁舎には、1階のロビーや閉庁時の会議室等で町民の活動ができる空間となるよう整備を検討します。また、中高生などの学生が気軽に学習できる空間としても機能します。庁舎前には、芝生などの広場が整備され、ふわふわ広場やみどりの丘と連続した、町民が憩える伸びやかな空間を形成します。

庁舎前の広場は、庁舎のロビー空間や1階会議室と視覚的・物理的に連続し、広場を含めた多様な町民活動に利用できます。



柏崎市新庁舎【新潟県】（上）
外部空間と連続性を持った1階ロビー空間、閉庁時には市民活動の場となる。（柏崎市役所 Twitter より）

北上市さくらホール【岩手県】（左）
施設内の至る所に椅子やテーブルが配され、中高生の自習スペースとなっている。

【庁舎とつながり、多様な町民活動の場に活用できる庁舎前広場】

庁舎前に整備される芝生広場は、ふわふわ広場やみどりの丘とつながって、ラディアン周辺地区内の庁舎をはじめとする各施設利用者や町民の気軽な憩いの場として開放されるとともに、町民活動の発表の場や新たな活動の創出の場として活用されます。

また、広場は災害時には応急・復旧物資や支援物資の集積・分配拠点として活用できます。



富岡市役所【群馬県】（上）：市役所前に広場を整備、イベント用テントや据え付け金具も設置。



隅田公園【東京都】

大規模な芝生広場が多くの周辺住民の憩いの場となっている。隣接して民間運営カフェを整備。災害時には広域避難場所や防災活動拠点となる。



隅田公園【東京都】

芝生広場前には、キッチンカーなどを止めることのできる舗装されたプロムナードがあり、イベント時には隣接カフェとキッチンカーにより賑わい空間となる。



戸塚ケンケンパ広場【横浜市】

市民のイベント活動の場として整備されている。



イベントのイメージ
地域の農家の産直マルシェ

【広場とつながる地域の物産を活かした、コミュニティカフェ】

広場に併設したカフェにより、広場での憩いや町民活動をサポートするとともに、町民の気軽なコミュニケーション形成の場として機能します。また、二宮町の物産を生かした特色ある新しいグルメを提供するなど、町民活動により二宮の情報発信拠点として機能していきます。



カフェのイメージ事例



まちなかベース「きちきち」【平塚市】

まちなかの活性化を目指す市民グループの活動拠点、かつ、コミュニティスペースとしてカフェを設置。市民活動の会議スペースや各種イベントスペースとして活用するとともに、創業支援のお試し店舗、会議・イベントスペースとしてレンタルも実施。

施設の運営は、市民活動団体「平塚まちなか活性化隊」が担当。

【多様な事業展開を可能とする子育て支援】

保健センターと役場庁舎を近接させることにより、健康や子育てに関する相談や、子育て教室等、多様な事業における連携がスムーズになるとともに、手続きの利便性が高まります。

また、ラディアンや図書館との連携も高まり、豊富な蔵書を活用した「知育」もより充実することが見込まれます。併せて、利用状況の低迷している児童図書コーナーの活性化を図ります。



ひと・ほんの庭 にこっと【静岡県磐田市】

人と本を介し、様々な相談や子育て支援、学びの支援などの複合的な機能提供を図る。

4) ラディアン周辺地区整備のコンセプト

まちづくりの方針に基づき、ラディアン周辺地区整備のコンセプトを以下に設定します。

① 庁舎の配置

新庁舎の配置については、従来から検討している第一駐車場とした場合、以下のような課題が生じます。

- 第一駐車場に建設する場合、年超過確率 0.1%、97 cm程度の浸水の可能性を考慮する必要があります。
- 第一駐車場に建設する場合、北側への日影規制が影響し建築計画に自由度がありません。
- 第一駐車場に建設する場合、役場用駐車場のメインをラディアン駐車場に頼る必要が生じ、駐車台数が不足するため、果樹公園の一部を駐車場として活用する必要があります。
- 現在、果樹公園に植えられている果樹は、老木化しており果樹を維持するためには定期的な植え替えが必要になるなど、今後の維持管理には多額の経費がかかるとされています。

機能	メリット	デメリット
第一駐車場案	<ul style="list-style-type: none"> ○ラディアンモールから歩行者メインアプローチの先に本庁舎があり、視認性が高い。 ○車動線が庁舎前ロータリーで切れるため、敷地全体に安全な歩行者動線が確保できる。 ○現在、ふわふわ広場南側のアスファルト舗装部分を花の丘プロムナードとしてイベント等に活用がしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○浸水想定区域に入っており、(想定最大規模・年超過確率 0.1%) 最大で 97 cmの浸水が生じる可能性があるため、建設にあたって設計的配慮が必要。 ○北側に対する日影規制をクリアするため、建物形状に制約がある。 ○広場が、庁舎の東側と北側に分断される。
果樹公園案	<ul style="list-style-type: none"> ○浸水想定区域にかからない。 ○日影規制等の影響が少ない。 ○敷地に余裕があり、設備等の高層配置を抑えられる(建設費、ライフサイクルコストの低減が見込める)。 ○広場を連続した形で確保できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歩行者メインアプローチの先に役場庁舎がなく、視認性が低い。 ○現在、ふわふわ広場南側のアスファルト舗装部分で花の丘プロムナードとして活用できるのが半分程度となる。

従来からの第一駐車場案と新たに果樹公園に配置した案を検討した結果、以上の点から、**本計画では、果樹公園の北側に、庁舎を配置します。**

② その他の配置計画

【歩行者動線】

ラディアン内のモールをメインアプローチとして活用します。ラディアン北側では、ラディアンに沿って東へ進み、役場庁舎に至ります。

【駐車場】

第一駐車場と役場庁舎南側に整備します。第一駐車場については、第一駐車場裏側の広場とふわふわ広場との連続性を確保するため、駐車場の一部を広場として整備します。

【車動線】

現在のラディアンアクセス道路をそのまま延伸して、現在の果樹公園西側の管理通路を通り、果樹公園南側の出入り口に接続します。

「にの♥バス」の転回場所は、役場庁舎前のテニスコート付近に整備し、庁舎の車寄せと共用します。

【庁舎前広場・カフェ】

役場庁舎の北側に整備し、広場、ふわふわ広場、みどりの丘との連続性を確保します。

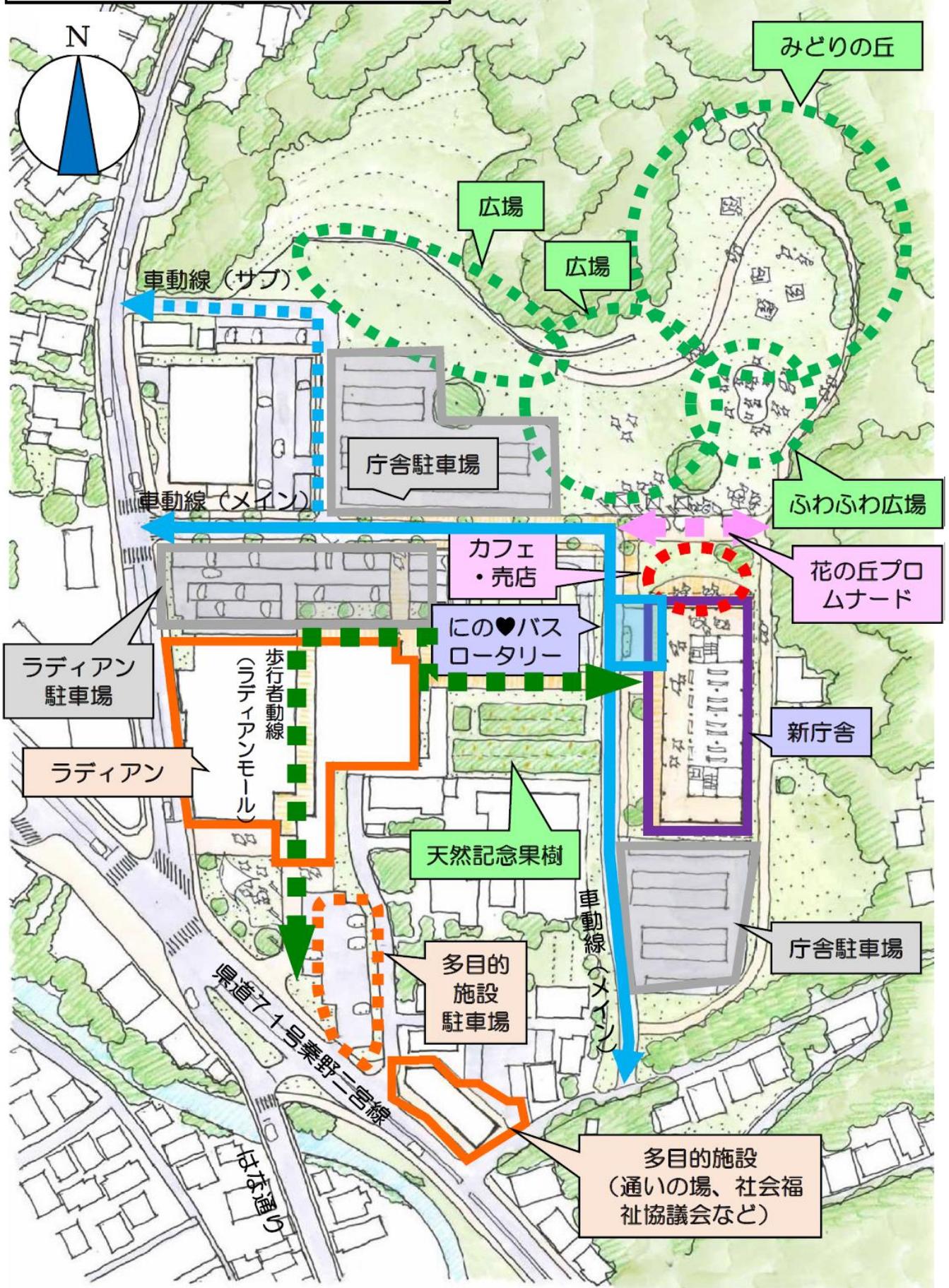
【多目的施設（通いの場機能・社会福祉協議会等）】

旧ホテル跡地に整備し、元町老人憩の家で行われている「通いの場」の代替施設として活用します。

社会福祉協議会については、令和4年度に現事務所（旧水道局）の賃借期間が終了するため、その後一時的に移転し、庁舎建設後に保健センター等の活用方策を検討する中で、配置を再度検討します。仮に、社会福祉協議会を更に移転した場合は、町民センター機能の代替施設や商工会等の移転候補地として検討します。

また、駐車場については敷地内に整備するとともに、ラディアン南側駐車場（イベント広場）を多目的施設の駐車場として、活用することも検討します。

新庁舎果樹公園配置案



新庁舎第一駐車場配置案

